

報告 1 中川水防活動拠点の整備状況について

水害対応の迅速化！

水防活動拠点に倉庫を設置

この拠点は、迅速な水害対応を可能にすることを目的として整備をしたもので、昨年6月から造成工事に着手し、10月に倉庫の設置が完了したのち、土のう200袋、ブルーシートを配置しました。



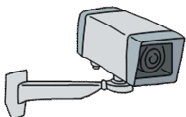
広報ニューすい12月号にも掲載しましたが、11月には地元である中川区長、上岩橋区長及びトケ崎自治会長に出席をいただき、門扉及び倉庫の鍵の受け渡しを行いました。

その後養生期間を経て、先日アスファルト舗装工事が完了したところです。

今後は、株式会社 広域高速ネット二九六の協力により、上下水道課において監視カメラの設置を予定しています。

監視カメラは上流と下流方向に各1台設置し、事務室のパソコン等から24時間確認ができ、既に支柱の設置工事が完了したところです。

また、出水期に備えて各家庭でもパソコン等により確認ができるようにします。



報告2 新型コロナウイルス感染症に係る町の対応について（新型コロナウイルス感染症対策本部）

新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力いただき、ありがとうございます。



～町内の感染状況と第6波～

新型コロナウイルス感染症は、第6波が急速な感染拡大となり、当町の感染者の発生は本年1月から急増し、2月28日時点で680例目の発生報告となっています。

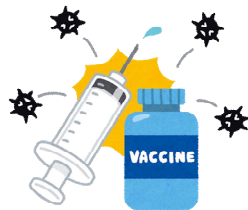
1月21日から千葉県全域を対象として「まん延防止等重点措置」が適用となり、延長期間が続いています。町はこれを受けて「新型コロナウイルス感染症対策本部会議」を開催し、町事業などの開催方針を決定しました。当面の間、高齢者などが多く集まる事業や貸館は休止とし、感染対策を行ったうえで各事業内容や施設の特性などにより、遵守事項を定めたうえで、事業を開催することとしました。

～ワクチン接種の進捗～

町のワクチンの接種についてですが、2月27日時点で、1回目の接種を終了した方は17,482人で91.32%、2回目の接種を終了した方は17,381人で90.80%、3回目の接種を終了した方は4,942人で25.82%といった状況です。このうち3回目接種を終了した65才以上の高齢者は4,245人で63.27%といった接種率です。いずれも全国、千葉県の平均より高い接種率となっています。

3回目の接種は、当初、2回目接種後8ヶ月といった方針でしたが、前倒して接種を開始しました。1月18日から順次、接種券を発送して接種を開始しています。

また、5才から11才までの児童へのワクチン接種については、3月15日に接種券の発送を予定しており、今月下旬から順次接種を開始します。



給付金支給事業について



次に、国の行う「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」としての給付金支給事業について「子育て世帯への臨時特別給付」は、既に給付を開始しており、「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金」は、3月10日に給付を行います。

ワクチンの接種が進み、感染予防対策の一步が進んだと考えています。しかし、オミクロン株での感染拡大の影響で、重症化などが危惧されるところであり、コロナ禍の出口が見えない状況が続いています。引き続き、感染予防を常に行うことが必要であり、私たち自身が意識を高く持って生活することが重要となります。

町としては、感染の拡大を防ぐために3密対策、手洗い、うがい、距離の確保、マスクの着用などの啓発に努め、引き続き、町民の皆様とともに、感染防止対策に努めてまいります。

報告3 青少年交流の家に係る提訴の経過報告について

令和3年12月議会において行政報告いたしました。その後の経過を報告します。

令和3年12月6日の第22回弁論準備手続きに引き続き、令和4年

1月27日に第23回弁論準備手続き

が行われました。被告側から準備書面21が提出され、第一原告酒々井町から第15準備書面及び証拠説明書を提出し、審理が行われました。

なお、次回の日程は、令和4年3月24日に決定し、弁論準備手続きとして行われることとなりました。



報告4 ロシアによるウクライナ侵攻に関する声明について

去る2月24日、ロシアはウクライナへの軍事侵攻を開始しました。子どもを含む民間人などの尊い命が奪われています。

これらの一連の行為は、国際社会の平和と秩序、安全を脅かすとともに、国連憲章に違反するものであり、断じて容認できるものではありません。

また、ロシア大統領による軍事侵攻に対し、核兵器の使用を示唆するような発言に対しても厳しく非難するものです。

酒々井町は、核兵器の廃絶、恒久平和の確立のため、令和元年の新たな時代と同時に「平和都市宣言」を「非核・平和都市宣言」として改正を行いました。この理念に基づき、ロシア軍の攻撃停止と撤退ならびに、一刻も早く平和的解決の実現に向け全力を尽くすことを強く求め、3月7日に報道機関に声明しました。